

平成28年度相馬地区SC交流事業 『ウォーキングサッカー体験教室』

日 時：平成28年11月24日(木) 13:30～15:00
場 所：南相馬市小川町体育館
内 容：ウォーキングサッカー体験教室
講 師：日本サッカー協会グラスツール推進部長 松田 薫二氏
出席者数：20名

【交流事業の概要】

平成28年度の相馬地区SC交流事業が、南相馬市小川町体育館で開催されました。今年度の交流事業は、各クラブのさらなる事業の充実に向け、今後普及が進んでいくことが予想される「ウォーキングサッカー」の指導者講習及び体験教室を実施しました。講師には、日本サッカー協会ですらなるサッカーの普及に取り組まれておられる松田薫二氏をお招きしました。クラブからは指導者や運営役員の方々20名が参加されました。

始めに、相馬地区SC江本理事長から、机上で学ぶ研修会ではなく、新しいスポーツ種目を実際に体験しそのエキスを学ぶことにより、今後のクラブ運営に役立てていただきたい旨のあいさつが述べられました。

続いて松田氏から、ウォーキングサッカーの概要説明、活動上の留意点等の説明がありました。ウォーキングサッカーは主にフットサルコートで行い、「走る」ことを制限する以外、ルールに変更はありません。また、参加者の技能・体力レベルに応じて弾力的にルール変更をすることも可能です。体に障がいがあっても、走るサッカーをあきらめていた方にも気軽に取り組むことができます。

体験教室では、通常のサッカーと同様にパス、シュート練習を行い、4チームに分かれ5人VS5人のミニゲームを3試合ずつ行いました。参加者は、走りたい気持ちを必死に押さえながら楽しく、かつ真剣にゲームに取り組んでいました。走ることを制限されるとたくさんのスペースが生まれ、状況判断をする時間もできて技能をより発揮しやすい環境になることや、味方の足元にダイレクトにパスを出さなくてはならないので正確なキックが必要になることなどを学ぶことができました。そのため、高齢者だけではなく、技術の習得やスペースを活用する動きを考えるための教材にもなり、子供たち（小学生）にも体験させたい種目であると感じました。

ゲーム後の感想交流では、対象者の年齢に応じた場の設定やルールの工夫等について活発な意見交換が行われました。参加された多くの方々から「クラブの事業に取り入れることを検討していきたい。」という意見も聞かれ、大変有意義な交流事業となりました。



講師の松田氏
誰もが気軽に楽しめるサッカーを全
国に普及されております。



白熱した好ゲームが繰り広げられま
した。